

2026年9月30日

京都信用金庫

京都橘大学と連携協定を締結しました －地域産業・教育・文化等の振興と人材育成等に取り組めます－

コミュニティ・バンク京信（法人名：京都信用金庫、理事長：榊田 隆之）と京都橘大学（学長：岡田 知弘）は、地域社会の発展、産学連携の推進、教育・文化・生涯学習の振興、地域・社会に貢献できる人材の育成等に取り組むことを目的に、本日付で連携協定を締結しましたので、お知らせいたします。

今回の協定締結を機に、これまでの連携をさらに発展させ、当金庫と京都橘大学がそれぞれの強みを生かしながら、地域の人々や企業の課題、そして地域社会の課題の解決に取り組んでまいります。

記

1. 協定締結の経緯・趣旨

当金庫と京都橘大学は、これまで教育・研究・地域連携において、さまざまな協力関係を築いてきました。こうした取組を重ねる中で、両者が有する地域とのつながりや教育・研究資源を生かし、さらに幅広い分野で連携することの重要性が高まったことから、2025年10月以降、今後の連携について議論を重ねてきました。

また、京都橘大学と同じく山科区に位置する当金庫の山科支店では、同大学における学生の教育プログラムの一環として、地域住民の皆様を対象としたイベント企画やコミュニティづくりの取組等を共創し、現場レベルでの連携も深めています。

今回、このような取組をさらに発展させるため、連携協定を締結しました。

【これまでの連携・協力実績】

- ・公開講座「たちばな教養学校 Ukon」を共創施設 QUESTION で実施、延べ1,432名が受講
- ・「EXPO 酒場 in 山科」において、教員による講演・ロボットのデモンストレーションを実施
- ・教育プログラム「学まちチャレンジ！プロジェクト」において、山科支店を拠点として地域の高齢者向けイベントをこれまでに10回実施
- ・地域企業が持つ経営課題の解決に向けて、京都橘大学の教育・研究資源をマッチング
- ・京都橘大学が進める古民家を活用した交流拠点づくりに参画し、活用について協議

2. 連携の意義・目的

当金庫が有する地域企業・団体とのネットワークと、京都橘大学が有する教育・研究資源を相互に活用し、地域の課題やニーズと大学の知識・専門性を掛け合わせ、地域社会の発展と学生の実践的な学びの双方につながる取組を推進します。

【連携・協力事項】

（1）施設相互活用による地域教育・交流事業の推進

双方の施設や地域ネットワークを活用し、公開講座、学生の地域活動、地域住民との交流などを推進します。

(2) 地域産業の振興に関する取組

当金庫が把握する地域企業等のニーズと、京都橘大学教員の研究・専門性をつなぎ、産学連携を進め、地域企業の課題解決に取り組みます。

(3) 教育、文化、生涯学習、スポーツの振興

当金庫と京都橘大学が有する資源を生かし、学習機会の提供や文化・スポーツ等の活動を通じて、地域における学びと交流の機会を広げます。

(4) 地域・社会に貢献できる人材の育成

当金庫の地域ネットワークを生かし、学生が地域企業・団体等と関わりながら、地域課題について学び、社会で活動する機会を拡充します。

3. 今後の連携について

今後、以下の分野などで連携を図っていきます。

(1) 学生の地域活動・学びの機会の拡充【教育】

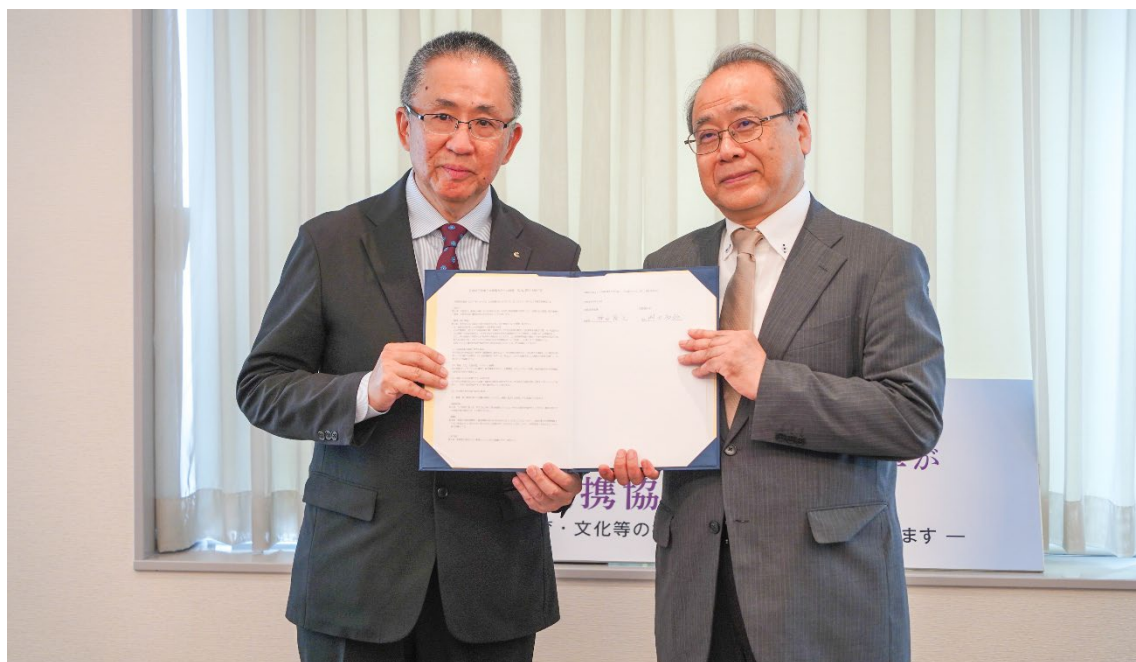
当金庫が持つ地域企業・団体等とのつながりを生かし、京都橘大学の学生が地域の課題やニーズに触れ、専門性を生かしながら実践的に学ぶ機会を提供します。

(2) 地域企業との産学連携の推進【研究】

当金庫が地域企業等のニーズを京都橘大学につなぎ、京都橘大学は教員の専門性や研究成果を生かして、地域企業の課題解決につながる連携を進めます。

(3) 古民家を活用した地域交流の推進【地域連携】

京都橘大学が進める、山科地域の古民家を拠点とした、学生と子ども、地域住民、地域団体等の継続的な交流を創出する取組において連携し、ともに場づくりを行います。



▲本日開催した連携協定締結式の様子

(左：コミュニティ・バンク京信（京都信用金庫）理事長 榊田隆之、右：京都橘大学 学長 岡田 知弘 様)

以上